平成２４年第１回定例会

三　沢　市　議　会　会　議　録

第１号（平成２４年２月６日）

◎議事日程

第１　開　　会
第２　会議録署名議員の指名
第３　会期の決定
第４　諸 報 告

（本定例会に提出された事件）

第５　議案第１号　平成２４年度三沢市一般会計予算
第６　議案第２号　平成２４年度三沢市国民健康保険特別会計予算
第７　議案第３号　平成２４年度三沢市食肉処理センター特別会計予算
第８　議案第４号　平成２４年度三沢市農業集落排水事業特別会計予算
第９　議案第５号　平成２４年度三沢市下水道事業特別会計予算
第10　議案第６号　平成２４年度三沢市介護保険特別会計予算
第11　議案第７号　平成２４年度三沢市後期高齢者医療特別会計予算
第12　議案第８号　平成２４年度三沢市水道事業会計予算
第13　議案第９号　平成２４年度三沢市立三沢病院事業会計予算
第14　議案第10号　平成２３年度三沢市一般会計補正予算（第５号）
第15　議案第11号　平成２３年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
第16　議案第12号　平成２３年度三沢市食肉処理センター特別会計補正予算（第３号）
第17　議案第13号　平成２３年度三沢市農業集落排水事業特別会計補正予算（第３号）
第18　議案第14号　平成２３年度三沢市下水道事業特別会計補正予算（第３号）
第19　議案第15号　平成２３年度三沢市介護保険特別会計補正予算（第３号）
第20　議案第16号　平成２３年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）
第21　議案第17号　平成２３年度三沢市立病院事業会計補正予算（第３号）
第22　議案第18号　三沢市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
第23　議案第19号　特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第24　議案第20号　三沢市特別職の職員の給料等に関する条例及び三沢市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第25　議案第21号　三沢市東日本大震災復興推進基金条例の制定について
第26　議案第22号　三沢市ホッケー競技振興基金条例の制定について
第27　議案第23号　三沢市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例の制定について
第28　議案第24号　三沢市税条例の一部を

改正する条例の制定について
第29　議案第25号　三沢市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について
第30　議案第26号　三沢市民運動広場設置条例の一部を改正する条例の制定について
第31　議案第27号　三沢市市民活動ネットワークセンター条例の制定について
第32　議案第28号　三沢市暴力団排除条例の制定について
第33　議案第29号　三沢市立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
第34　議案第30号　三沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
第35　議案第31号　三沢市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
第36　議案第32号　三沢市民いきいき農園条例の制定について
第37　議案第33号　三沢市斗南藩記念観光村条例の一部を改正する条例の制定について
第38　議案第34号　三沢市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
第39　議案第35号　三沢市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
第40　議案第36号　三沢市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
第41　議案第37号　三沢市消防本部手数料条例の一部を改正する条例の制定について
第42　議案第38号　三沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

第43　提案理由の説明

第44　議案の説明（省略）

◎本日の会議に付した事件

第１　開　　会
第２　会議録署名議員の指名
第３　会期の決定
第４　諸 報 告

（本定例会に提出された事件）
第５　議案第１号　平成２４年度三沢市一般会計予算
第６　議案第２号　平成２４年度三沢市国民健康保険特別会計予算
第７　議案第３号　平成２４年度三沢市食肉処理センター特別会計予算
第８　議案第４号　平成２４年度三沢市農業集落排水事業特別会計予算
第９　議案第５号　平成２４年度三沢市下水道事業特別会計予算
第10　議案第６号　平成２４年度三沢市介護保険特別会計予算
第11　議案第７号　平成２４年度三沢市後期高齢者医療特別会計予算
第12　議案第８号　平成２４年度三沢市水道事業会計予算
第13　議案第９号　平成２４年度三沢市立三沢病院事業会計予算
第14　議案第10号　平成２３年度三沢市一般会計補正予算（第５号）
第15　議案第11号　平成２３年度三沢市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
第16　議案第12号　平成２３年度三沢市食肉処理センター特別会計補正予算（第３号）
第17　議案第13号　平成２３年度三沢市農業集落排水事業特別会計補正予算（第３号）
第18　議案第14号　平成２３年度三沢市下水道事業特別会計補正予算（第

３号）

第19　議案第15号　平成２３年度三沢市介護保険特別会計補正予算（第３号）

第20　議案第16号　平成２３年度三沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）

第21　議案第17号　平成２３年度三沢市立病院事業会計補正予算（第３号）

第22　議案第18号　三沢市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

第23　議案第19号　特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第24　議案第20号　三沢市特別職の職員の給料等に関する条例及び三沢市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

第25　議案第21号　三沢市東日本大震災復興推進基金条例の制定について

第26　議案第22号　三沢市ホッケー競技振興基金条例の制定について

第27　議案第23号　三沢市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例の制定について

第28　議案第24号　三沢市税条例の一部を改正する条例の制定について

第29　議案第25号　三沢市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

第30　議案第26号　三沢市民運動広場設置条例の一部を改正する条例の制定について

第31　議案第27号　三沢市市民活動ネットワークセンター条例の制定について

第32　議案第28号　三沢市暴力団排除条例の制定について

第33　議案第29号　三沢市立保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

第34　議案第30号　三沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

第35　議案第31号　三沢市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

第36　議案第32号　三沢市民いきいき農園条例の制定について

第37　議案第33号　三沢市斗南藩記念観光村条例の一部を改正する条例の制定について

第38　議案第34号　三沢市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

第39　議案第35号　三沢市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

第40　議案第36号　三沢市下水道条例の一部を改正する条例の制定について

第41　議案第37号　三沢市消防本部手数料条例の一部を改正する条例の制定について

第42　議案第38号　三沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

第43　提案理由の説明

第44　議案の説明（省略）

◎出席議員（２０名）

議長	１番	馬　場　騎　一　君
副議長	１５番	小比類巻　雅　彦　君
	２番	澤　口　正　義　君
	３番	瀬　崎　雅　弘　君
	４番	奥　本　菜保巳　君
	５番	加　澤　　明　君
	６番	鈴　木　重　正　君

７番	藤田光彦君
８番	天間勝則君
９番	太田博之君
１０番	堀　光雄君
１１番	春日洋子君
１２番	野坂篤司君
１３番	西村盛男君
１４番	小比類巻正規君
１６番	舩見亮悦君
１７番	山本弥一君
１８番	堤　喜一郎君
１９番	小比類巻種松君
２０番	森　三郎君

◎欠席議員（０名）

◎説明のため出席した者（２６名）

市長	種市一正君
副市長	大塚和則君
政策財政部長	米田光一郎君
健康福祉部長	宮古直志君
経済部長	中野渡　進君
建設部長	中西敬悦君
上下水道部長	宮古健一君
政策推進監	中村健一君
政策財政部参事兼政策調整課長	山本文彦君
政策財政部参事兼広報広聴課長	菊池弘義君
建設部参事兼都市整備課長	中村　均君
財政課長	山本紀雄君
総務課長	平出修一君
秘書課長	繋　範雄君
管財課長	尾崎正光君
税務課長	小比類巻雄一君
国保年金課長	小泉富男君
土木課長	小泉眞章君
三沢病院事務局長	大澤裕彦君
三沢病院事務局理事兼管理課長	小笠原雅義君
消防長	月館　孝君
教育委員長	熊野　稔君
教育長	吉田　健君
教育部長	今村哲也君
代表監査委員	和泉英世君
監査委員事務局長	冨田　哲君

◎職務のため出席した職員

事務局長	佐々木卓也君
次長	村井拓司君
庶務係長	大塚英知君
主査	山本　聡君
主査	鳴海　拓君

◎会議録署名議員

５番	加澤　明君
１８番	堤　喜一郎君

午前１０時００分　開会

◎日程第１　開　　会

○議長（馬場騎一君）　出席議員は定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

これより、去る１月２６日告示招集されました平成２４年三沢市議会第１回定例会を開会します。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事は、お手元に配付しております議事日程第１号をもって進めます。

◎日程第２　会議録署名議員の指名

○議長（馬場騎一君）　日程第２　会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、５番加澤明議員、１８番堤喜一郎議員の両氏を指名します。

◎日程第３　会期の決定

○議長（馬場騎一君）　日程第３　会期の決定を行います。

お諮りします。

今定例会の会期は、会期日程表案のとおり、本日から２月１６日までの１１日間としたいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（馬場騎一君）　御異議なしと認めます。

よって、会期は、本日から２月１６日までの１１日間と決定しました。

◎日程第４　諸報告

○議長（馬場騎一君）　日程第４　諸報告は、印刷してお手元に配付したとおりです。御了承願います。

◎日程第　５　議案第　１号から
日程第４２　議案第３８号まで

○議長（馬場騎一君）　日程第５　議案第１号から日程第４２　議案第３８号までの全議案を一括上程します。

◎日程第４３　提案理由の説明

○議長（馬場騎一君）　日程第４３　提案理由の説明を願います。

市長。

○市長（種市一正君）　おはようございます。

本日ここに、平成２４年三沢市議会第１回定例会が開催され、平成２４年度当初予算をはじめとする各議案の審議をお願いするに当たり、私の市政運営に関する基本姿勢とその所信を明らかにし、提出いたしました議案の概要を御説明申し上げ、議員各位並びに市民の皆様方の御理解と御協力を賜りますように心からお願いするものであります。

さて、昨年３月１１日の東日本大震災からはや１年を迎えようとしておりますが、いまだに３３万７，０００余名もの避難者を数え、新聞にも身元が判明した犠牲者の方々の氏名が掲載されるなど、その傷跡はまだいえるものではありません。

当市沿岸部等で被災し、市営住宅等に入居されている方は６世帯１６名、他の被災地から三沢市に避難されている方も１３世帯２９名を数え、厳しい避難生活を余儀なくされている方々に対しまして心からお見舞いを申し上げます。

当市においては、２名の方のとうとい命が奪われ、７８億３，５００万円を超える被害が発生し、特に大津波によりまして、沿岸部を中心に漁港施設等甚大な被害を受けました。しかし、いち早く復旧に着手できましたことは、国、県をはじめ、漁業者、そして米軍、多くのボランティアの方々の温かく力強い支援によるものであり、衷心より感謝申し上げるところであります。

被災した施設等の復旧も約８０％に達しており、復旧への足がかりとして、三沢市復興計画も昨年１２月に策定を終え、これからは「人と自然の共生　真の安全・安心を未来へ」を理念に、東日本大震災の教訓を終生忘れることなく、災害に強いまちづくりを目指

し、三沢市総合振興計画にあわせて、着実に、スピードをもって全力を傾注しながら三沢市の復興をなし遂げる所存であります。

私は、去る１月、新年のスタートに当たりまして、２期目の市政運営は、継続性を保ちながら新たな視点で、これまでの歩みを検証しながら実施すべき事業の展望を見きわめ、市民の皆様が、三沢市に住んでよかった、三沢市に住み続けたいということができるまちづくりを市民とともに推進したいとの思いを年頭の抱負で申し上げました。

「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」を基本理念とする三沢市総合振興計画も前期計画の終盤を迎え、目指す六つの都市像もさまざまな施策の展開により、市民が肌で感じ、そして思い描くことができたのではないでしょうか。

市民のだれしもが、きずなを深め、そして三沢市のよさと豊かさと力強さを実感できるよう、次なる後期計画の策定に向けまして、これまでの事務事業の評価や市民懇談会でいただいた貴重な御提言やさまざまなアイデアを踏まえ、市民が主体となった協働のまちづくりを主眼に、にぎわいのある三沢市、そしてまた、豊かな自然に恵まれた郷土の風景を大切にし、心豊かで国際性に富んだ人材を育てるまちづくり、三沢市に愛着と誇りを持って次世代に引き継いでいける持続可能なまちづくりを目指し、市民と同じ目線に立って、市民とともに歩む市政に全力を挙げて取り組んでまいりたいと存じます。

それでは、議案第１号平成２４年度三沢市一般会計予算について、その概要を御説明申し上げます。

我が国経済の動向は、東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にあり、その先行きについては、各種の施策効果等を背景に、景気の緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待されておりますが、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が依然として残っており、今後においても予断を許さない状況にあります。

国においては、平成２４年度の予算を日本再生元年予算と位置づけ、新成長戦略を強力に進めるとともに、社会保障・税一体改革成案に沿って具体化に向けた検討を進め、経済成長と財政健全化の両立を実現していくことを基本とした予算編成を行い、一般会計予算案は、前年度当初予算に比べまして２．２％減の９０兆３，３３９億円となったところであります。

一方、当市の財政状況は、歳入については、市税等の自主財源や地方交付税を含む依存財源においても大幅な増加を見込むことができず、先々の見通しが極めて不透明となっていること等から、依然として厳しい財政環境に置かれているところであります。

このような中、当市の平成２４年度の当初予算編成に当たりましては、目的及び成果志向による行政経営システムに基づき、事務事業評価や施策評価の結果を的確に予算編成に反映するとともに、行財政改革との一体的な取り組みによりまして、将来世代への持続可能な財政構造を確立するための予算編成を基本方針として、三沢市総合振興計画の基本理念であります「人とまち　みんなで創る　国際文化都市」建設のため、一つには「健康で助け合うまちづくり」、二つには「環境と共生し安心できるまちづくり」、三つに「豊かな心と体を育むまちづくり」、四つには「働き暮らせるまちづくり」、五つに「生活に便利なまちづくり」及び六つには「健全で開かれたまちづくり」の六つの都市像の実現を目指したところであります。

その結果、平成２４年度三沢市一般会計当初予算は、歳入歳出とも２１９億９，２００万円となり、前年度当初予算と比較し１９億９，７００万円、率にいたしまして１０．２％の増といたしたところであります。

それでは、平成２４年度における主要施策に対する予算措置の主なるものについて御説明を申し上げます。

まず第１に、「健康で助け合うまちづくり」についてでありますが、少子高齢化社会

を迎えた今日、高齢者等が生き生きと社会参加ができ、障害者等を地域社会で支え合うことができるよう、高齢者の要介護状態への進行を防止し、自立した日常生活の確保や生活指導等のためのデイセンターの運営費に所要の予算を措置したほか、新規事業として、地域の弱者に対する生活支援や災害支援等を推進する地域きずな・支え合い事業の実施をいたします。

さらに、だれもが安心して子供を生み育てることができるよう、妊婦委託健康診査の無料診査事業や母子集団健康診査事業を継続するとともに、当市の特色であります事業として、米の地産地消も兼ねたわんぱく家族米支給事業も継続してまいります。

また、保護者が安心して就業できるよう、延長保育促進事業や一時預かり事業のほか、手狭となっておりました木崎野児童クラブ等の新築事業をはじめ、来年度から指定管理者による運営となります中央保育所や既存児童館の指定管理料、各種扶助費等に所要の予算を措置したところであります。

市民の健康づくりの推進では、新規事業として、市民がん検診事業のうち、検診料の無料化対象者を６５歳以上に拡大したほか、後期高齢者肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用助成事業や各種健康増進対策事業についても、引き続き所要の予算を措置いたしました。

また、市民により身近で質の高い医療・保健サービスを提供するため、これまでの乳幼児医療費給付事業を子ども医療費給付事業として、その対象者を乳幼児から中学生まで拡大するほか、ひとり親家庭等に対する医療費給付事業等、各種医療費給付事業に引き続き所要の予算を措置いたしたところであります。

第２に、「環境と共生し安心できるまちづくり」についてであります。

地球温暖化の環境問題に対応するため、新エネルギービジョンを推進する体制を構築するとともに、国際的にも貴重な仏沼をはじめとする数多く残る自然の活用と保全の調和を図る自然保護費や、新規事業として、非正規労働者等に雇用の機会を提供する環境美化雇用対策推進費を予算措置いたしました。

また、市民の快適な生活環境を守るためのじんかい処理費や焼却施設等の補修工事のための清掃センター整備事業等に、引き続き所要の予算を措置いたしたところであります。

子供や高齢者が安全で安心して生活できるよう、交通整理員設置費や防犯灯維持費にも引き続き所要の予算を措置したところであります。

また、昨年の東日本大震災の教訓により、消防・防災対策につきましては、新たな自主防災組織に対する資機材整備事業費や保存食、そして、無線機を購入するための経費、防災行政用無線の音響音達調査に要する経費等、所要の予算についても措置いたしたところであります。

第３に、「豊かな心と体を育むまちづくり」についてであります。

これまで積極的に取り組んでまいりました国際交流を継続することによりまして、市民や子供たちの国際性を養い、外国の多様な文化への理解が深まるよう、国際交流推進事業として、姉妹都市委員会補助金やジャパンデー・アメリカンデーに対する補助金のほか、三沢市の特性を生かした英語活動科推進事業等にも引き続き所要の予算を措置いたしました。

また、小中学校においては、支援の必要な児童生徒の生活環境の充実を図るため、特別支援教育支援員を１名増員し、２４名配置することといたしました。さらに、安全・安心な学校と地域型の小中連携教育を目指す第三中学校新築事業につきましては、７月の完成を目指し、所要の予算を措置したところであります。

スポーツの振興につきましては、スポーツ推進費として、各種大会選手派遣費や大会運営補助金等、引き続き所要の予算を措置した

ほか、(仮称)国際交流スポーツセンターの整備につきましては、基本設計業務や地質調査業務に要する委託料等、その実現に向けた予算を措置いたしたところであります。

第４は、「働き暮らせるまちづくり」についてであります。

当市の基幹産業であります農業、漁業はもとより、観光や新たな産業創出への支援、地場産業の競争力強化等、市経済の活路を切り開いていくため、農業では、農地の集団化と経営規模の拡大や高能率農業の展開を図る県営北三沢地区経営体育成基盤整備事業や、ニンジン洗浄選別施設設置助成事業等、主要事業に対する各種負担金、補助金に所要の予算を措置するとともに、学校給食センターの機能を持ち合わせた農産物加工施設については、平成２５年１月の供用開始を目指します。

また、漁業については、東日本大震災の復旧を早急に進めるため、巻き上げ施設や冷蔵施設等、主要施設の復旧支援事業に所要の予算を措置いたしました。

商工業では、経済・雇用対策事業として、産業活性化住宅新築リフォーム事業を新築リフォーム支援事業と改称し、空き店舗の改装も補助対象とし、予算枠を大幅に拡大したところでもあります。

また、引き続き若年者就業支援・実務体験業務に所要の予算を措置したほか、市の最重点要望の一つであります企業誘致につきましては、航空機産業の企業集積等を県ともども、その推進を図ってまいりたいと思っております。

第５は、「生活に便利なまちづくり」についてであります。

コミュニティバスにつきましては、実証運行から本格運行に移行することから、これまで以上に路線バスとの整合性を図りながら、市民が利用しやすい公共交通環境を整えてまいりたいと思います。

また、三沢駅周辺の活力の再生につきましても、バスターミナルの整備を含め、意を注いでまいります。

市道整備につきましては、市民生活と都市機能の向上を目指し、市道東岡三沢・松原線整備事業及び東岡三沢地区外道路整備事業や市道４６号線整備事業等、多くの継続事業の進捗を図るため所要の予算も措置いたしました。

また、ケーブルテレビにつきましては、ハイビジョン放送に対応するため、施設の更新を実施し、市民サービスの向上を図ってまいります。

公園の管理につきましては、新規に障害者の就労訓練を取り入れた緑化推進事業を実施するとともに、南町公園の新規整備や遊具の改修事業につきましても所要の予算を措置いたしました。

市営住宅の整備等につきましては、さつきヶ丘団地をはじめ堀口団地等の修繕工事を実施するほか、古間木団地につきましても建てかえ事業の進捗を図るため、造成及び建築基本設計等に所要の予算を措置いたしました。

第６は、「健全で開かれたまちづくり」についてであります。

市民が主体となったみんなでつくるにぎわいのあるまちづくりを目指し、町内会をはじめ、ＮＰＯや各種団体等の支援を強化するため、市民活動サポートセンターの運営に要する経費や協働のまちづくり市民提案事業につきましても引き続き所要の予算を措置いたしました。

また、市連合町内会活動費補助金や、(仮称)新森地区ふれあい交流館建設事業等に所要の予算を措置し、市民との綿密な連携と住民自治の確立を目指してまいりたいと思います。

次に、歳入の主なるものについて御説明申し上げます。

まず、市税につきましては、景気動向の影響や固定資産税の評価がえ等による減収が見込まれることから、前年度比０．７％の減といたしました。

地方譲与税及び地方消費税交付金等につき

ましては、国の地方財政計画等を勘案し、計上いたしたところであります。

国有提供施設等所在市町村助成交付金につきましては、前年度交付実績により、前年度比１．０％の減といたしたところであります。

地方交付税につきましては、地方財政計画等を勘案し、前年度比０．３％の増といたしました。

国庫支出金につきましては、継続事業であります農産物加工施設設置事業費補助金、ニンジン洗浄選別施設設置助成事業費補助金及び市道整備事業関係補助金の増額等により、前年度比４１．４％増となり、県支出金につきましても、電源立地地域対策交付金等の増額等によりまして、前年度と比較しますと９．１％の増といたしたところであります。

繰入金につきましては、土地区画整理事業特別会計の廃止に伴い、一般会計における公債費の元利償還金が増となったことから、その財源として減債基金のみを取り崩すことといたしました。

なお、基金の取り崩しに頼らない予算編成を基本として、歳入の確保や歳出の見直しに努めた結果、財政調整基金や公共施設等整備基金は取り崩しをすることなく、特定目的基金の繰り入れにとどめることができたところであります。

市債につきましては、投資的経費の増に伴う財源確保により、前年度比１２．５％の増となったところであります。

以上が、平成２４年度三沢市一般会計予算の概要であります。

次に、議案第２号から議案第９号までは、平成２４年度の各種特別会計等の予算であります。内容につきましては、御審議の際に詳細に御説明申し上げます。

次に、議案第１０号平成２３年度三沢市一般会計補正予算（第５号）についてであります。

今回の補正予算は、国庫補助金の決定通知等に基づく学校施設環境改善交付金による木崎野小学校等の耐震補強事業のほか、東日本大震災復興推進交付金による基金積立金の予算措置及びその他の事業費の調整並びに緊要な一般行政経費の補正でございます。

この結果、補正総額は、歳入歳出ともに７億６，５２０万円の増額補正となったところであります。

既定額との累計では２３４億６３０万円となり、前年度同期の予算額との比較では３９億３０万円、率にして２０．０％の増となったところであります。

次に、議案第１１号から議案第１７号までは、平成２３年度各特別会計等の補正予算であります。内容につきましては、御審議の際、詳細に御説明申し上げます。

次に、議案第１８号から議案第３８号までは、行政運営上必要な条例の制定及び改正であります。

なお、議案第２０号三沢市特別職の職員の給料等に関する条例及び三沢市教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、行財政改革を引き続き推進するため、市長、副市長及び教育長の給料月額を４月から引き下げるものであります。

以上、平成２４年度における市政運営に対する所信の一端を申し上げるとともに、提案いたしました議案の主なものについて、その概要を説明申し上げましたが、議事の進行に伴い、御質問に応じ、本職及び関係部長等から詳細に御説明申し上げたいと存じます。

何とぞよろしくお願いを申し上げます。

以上であります。

◎日程第４４　議案の説明

○議長（馬場騎一君）　お諮りします。

ただいま一括上程いたしました全議案に対する当局の議案説明は、会議規則第３７条第３項の規定により省略したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（馬場騎一君）　御異議なしと認めま

す。

よって、議案の説明は、省略します。

○議長（馬場騎一君）　以上で、本日の日程は終了しました。

なお、明７日及び８日は、議案熟考のため、本会議は休会となります。

次回本会議は９日で、市政に対する一般質問を行います。

本日は、これをもって散会します。

午前１０時３４分　散会